

館長だより

山形県産業科学館

平成27年4月8日 第41号

発行 館長 大津 清

谷地高校がタペストリーを展示

去る3月27日(金)に山形県産業科学館2階チャレンジコーナー前に、山形県立谷地高等学校家庭クラブ2年岸 彩香さんの制作した作品タペストリー「Let's go to space. ~宇宙に行こう~」を展示しました。

この作品は平成26年度第20回全国高校生クリエイティヴコンテストにおいて、クリエイティヴ賞(第2位)に輝いた作品です。おめでとうございます。

作品には、産業科学館に来館した子どもたちにアンケートを実施した内容や谷地高校の特色や地域の名物などをちりばめられています。未来の夢や希望がこめられている美しいわくわくする作品です。

パネルの裏側には、作品の紹介やアンケートの内容が掲示されています。「この作品からみなさんへのメッセージ」もご覧ください。制作者の思いが込められた素晴らしいメッセージです。

子どもたちをはじめ多くの方にご覧になっていただきたいと思っております。

なお、下記のように、新聞等掲載・テレビ放映によりご紹介がありました。



産業科学館紹介動画を更新しました

去る3月27日(金)に、山形県産業科学館ホームページの産業科学館紹介動画を更新しました。日頃の産業科学館の様子や説明タイトルなどわかりやすいものに更新しました。

右の図の山形県産業科学館のトップページにおいて、赤枠の「産業科学館紹介」をクリックしてください。

皆さん、ご覧ください。そして、ご来館ください。



「産業科学館紹介」はココです →

新聞等掲載・テレビ放映

- 『「音」に触れよう 体験型装置2基を新設』山形新聞3月13日
- 『手で音を操る新装置登場』NスタやまがたTUY3月13日放映
- 『体感しながら“音”を学ぶ』NHK3月15日放映
- 『体を使い音の仕組み楽しく学ぼう』毎日新聞3月17日
- 『音量・音程、身ぶりで操る 体験型展示を導入』日本経済新聞3月20日
- 『“故郷”と“夢”が詰まったタペストリーを展示』SAYスパ-ニュース3月24日放映
- 『谷地高生の作品をきょうから展示』NスタやまがたTUY3月24日放映
- 『宇宙いっぱい子どもの夢』山形新聞3月27日

・天才なんてあるものか！あるのは努力だけだ！誰よりも三倍、四倍、五倍努力勉強する者、それが天才なのだ！ (野口英世)

野口英世(1876-1928)は、幼い頃に受けた左手の大やけどを克服して、苦学の末に細菌学で世界的に有名となった学者です。病気で苦しむ人々を救おうと未開発のアフリカにわたり、黄熱病の研究に取り組みました。そして、現地で感染して亡くなりました。まさに、人類のために、身を捧げました。